

受理番号及び 受理年月日	所 管	件 名 及 び 要 旨	提出者及び紹介議員
25 年－ 3 (25. 2.20)	福祉保健	<p>「生活保護基準の引き下げをしないこと」を求める意見書の提出について</p> <p>▶請願理由 国は、2006 年度に老齢加算を廃止し、毎月の生活保護費を約 2 割減らした。その結果、「食事を 1 日 2 回にした」「知り合いの葬式にも出席できない」など、大変な暮らしを強いられている。 国は、現在、生活保護基準切り下げを含めた来年度予算案を国会に上程している。 生活保護基準の引き下げは、利用している人たちの暮らしをより一層大変にし、最低賃金や年金、就学援助など各種制度にも影響する。 国民生活の最低保護基準の土台をなす生活保護制度は国が責任を持って保障すべきである。</p> <p>▶請願項目 以上の理由から、次の要望を実現するよう、地方自治法第 99 条の規定により国の関係機関へ意見書を提出いただくよう請願する。 1、生活保護基準の引き下げをしないこと。</p>	<p>鳥取県生活と健康を守る会連合 会長 中 川 淑 (米子市博労町 3 丁目 44-1)</p> <p>(紹介議員) 市 谷 知 子 錦 織 陽 子</p>